

NFLj



Speech & Debate





君は、世界で活躍している自分を 想像できるだろうか？

世界には驚くほど斬新な発想で、世界中の時間と距離をとりながら、
人間社会の様々な課題を解決するべく行動している人がたくさんいる。
そんな世界で発信されている情報は簡単に手に入る時代になったけど
自分の言葉はどこまで届けられるだろう。
地域や国境を超えたステージで自分をきちんと表現し、
コミュニケーションできる人になること。
すべてはそこから始まるのかもしれない。



Leading to

スピーチやディベートで鍛え抜いた力は、 将来の夢に近づく糧となる。

スピーチでは、大勢の目の前で、しっかりと自分の考えを発信する力を養うことができます。その基礎をベースにディベートでは、他者と協働する上で必要なコミュニケーション能力が磨かれます。具体的には、賛成サイドと反対サイドの両方を入れ替えながら考える習慣付けをすることで、とりわけ日本人が苦手とされる意見と個人を区別した物の考え方を、身につけることができます。同時に英語運用能力を高めることができる英語スピーチ・ディベートは、グローバルに活躍するための基礎力獲得に最適なアプローチです。

Our Mission

グローバルな舞台で競い合うことを通じて、日本の若者が世界に覇をたくチャンスを、それが私たちNFLJのミッションです。

忘れもしません、当時私が勤めていた外資系金融機関のOchibaは優勝を決めた瞬間に向けてお喜ばしと喜びのことです。日本人チームの素晴らしいパフォーマンス、これ以上は考えられないほどの考え、Ochiba優勝として保持される瞬間にあふれた、賞賛と拍手に包まれました。しかし、いざ優勝が決まると、日本人チームの優勝は全く聞かされずともえませんが、そして、会場後、後部のメンバーたちが涙を流す姿に気づき、日本人の上昇の力が素晴らしいです。

「外国人は全くかかってない」
「この試合はいい試合だったんじゃないか。」
「笑い声、優勝は試みたりして！」

しかし、いくら優勝していても、世界の舞台に取り入れてもらえないという現実ばかりあります。私はなぜ日本人チームがこのような結果になってしまったのか、を深く考えるようになりました。考えてみると、このような舞台は世界に勝つには、英語の力、日本発のスポーツであるにもかかわらず、世界でなかなか日本の活躍は進んでいない、国際大会のルール作りにしても、世界の舞台は世界で取り入れられることは、これらも世界に勝つ必要とする何かがあるのではないかと

私はそれを見つめ、世界のグローバルなビジネスアクション能力を高める人物を育てることにしました。すると気づきは、「自分たちの考えが差別、では思っている、テーマとアンチテーマで、議論を通じてより深い深いテーマに昇華させることを共通のルールとしていることと気づきました、自分たちの考えを世界

にしていることは、議論が打ちあがった時に、外国人であれば言葉が通じなくても、外国人であればその議論に精通する自分のストーリーなどもよく話すのです。そうした一見関係のないような話をすること、言葉の力、やり、を磨いているのです。

そうした「言葉の力、やり」を実践的に一貫に継続への道が開けることが、グローバルな舞台での議論では、重要、よくおきます。これが、日本人の上昇の力に磨かれた「無敵な、の上昇力」なのです。

私は、日本人のこうした姿勢にはびつたの経験があることと気づきました。ひとつは「考えが一つである」といふこと、もうひとつは、「英語運用能力が不十分であること」です。日本の教育現場では、語学で授業の深いクラスの中で、「考えが一つであること」を重視に授業がなされているように感じます。また、英語の運用能力を高めることが十分にできていないかという、疑問が浮かびます。

グローバルに通用する「英語のルール」と「英語運用能力」の取得を同時に教えるのに、「英語ディベート」より良い方法はありませぬ。競合の場での最も強い力で自分を磨くスピーチと併せて、英語ディベートを世界の舞台と競い合う機会を日本の教育に与え、世界に覇をたくチャンスを広げること、それが私たちNFLJのミッションです。

NFLJ代表理事 植原正大

the future



Global net

米国最大、 世界に広がるスピーチ・ディベート大会 ついに日本上陸。

米国で始まり、90年の歴史と100万人の会員を抱えるNFLは
近年、中国や韓国でも独自の運営組織が立ち上がり、
そのグローバルネットワークはアジアを中心に急速に拡大しています。
特に中国では、中国本土9都市で地区予選が開催され、
毎年合計2,000人を超える高校生が参加するほど活況を呈しています。





What's NFL?



90年の歴史と100万人の会員を抱える 米国最大の青少年スピーチ・ディベート大会

NFL (The National Forensic League) は、Training Youth for Leadership (明日のリーダー育成) を理念に掲げ、米国で1925年に設立された青少年のスピーチ、ディベート競技会運営団体です (2014年「The National Speech & Debate Association」に改称)。100万人超の生徒、教師、卒業生からなるネットワークを誇り、これまで最高級高官や政財界、ジャーナリズム、映画界などにも多くの人材を輩出しています。NFLの競技会でおさめた成績は、多くの米国の大学で入学審査の評価事項としても認められています。



NFL JAPAN 特写



NFL CHINA 特写



NFL KOREA 特写

日本版NFLのスピーチ・ディベート大会 「NFLJ」が2015年よりスタート。

NFLJは、米国最大の青少年スピーチ・ディベート大会「NFL」の日本版の大会を運営する組織です。米国や中国、韓国のNFLと提携しており、アジア各国の高校生がNFLJの大会への参加を呼びかけるほか、全国大会で勝ち進めば本場米国で世界のエリートと対戦することができます。

大会の流れ



参加のメリット



多くの米国の大学がNFLで獲得したポイントを
入学審査の評価事項としています。



NFLJの各種競技会に参加すると、その成績に応じて参加者にポイントが付与され、個人の実績として蓄積されます。既に実績のある米国NFLの「グローバルポイント」としてもカウントされますので、日本からの海外大学進学におけるアピール材料とすることが可能です。これに加え、NFLJでは現在、国際数多くの大学をはじめ、国内大学のAO入試等でのポイントの評価・活用を働きかけています。[ポイント制の詳細についてはWEBサイトでご確認ください。 <http://nflj.org/about/point/>]

種目と概要

ディベート

Public Forum

NFLが採用するPublic Forumは、トピックに応じて賛否両方について事前準備をして数々2名1組のチーム対抗型ディベートです。コイントスを行い、賛成サイド・反対サイド、先攻・後攻を決定して始まります。

Constructive speech：チームのベースとなる意見・理由を述べます。
Crossfire：お互いに質問を投げかけ合います。
Rebuttal speech：相手チームの意見に反論します。
Summary：これまでの議論をまとめます。
Grand Crossfire：全4人で質問を投げかけ合います。
Final Focus：なぜ自分たちが勝つべきか最後のスピーチをします。
Free Time：勝利を誇る時間です。いつでも帰席することができます。

スピーチ

Original Oratory

NFLが採用するOriginal Oratoryは、10分間のフリースピーチとなります。実際に出場者の手で作成された原稿に基づき、短説形式です。いかなるテーマでも構いませんが、スピーチ内容は最良でなければなりません。

詳細についてはNFL公式サイトをご覧ください。
スピーチ <http://nfl.org/competition/speech/>
ディベート <http://nfl.org/competition/debate/>

【ディベートの流れ】

10分 2人 10分 2人

Constructive Speech	4 minutes each	1 speaker 21 2 speaker 21
↓		
Crossfire	3 minutes	41 vs 41
↓		
Rebuttal speech	4 minutes each	1 speaker 21 2 speaker 21
↓		
Grand Crossfire	3 minutes	41 vs 41
↓		
Summary	2 minutes each	1 speaker 21 2 speaker 21
↓		
Grand Crossfire	3 minutes	41 vs 41
↓		
Final Focus	2 minutes each	1 speaker 21 2 speaker 21

Free Time: 2 minutes per team

理事メンバー紹介



代表理事
高野 健太
Kenta Takano

東京外国語大学日本語学専攻。1979年にNECに入社、中退後、東京、東京の事業に携わり、2004年にNEC EuropeのChairman & CEOに就任。2008年、立命館アジア太平洋大学経営開発・学術支援センター教授となり、国際経営学社会連盟常務理事などを歴任。2013年から同協会会長。



代表理事
福谷 正大
Masahiro Fukutami

慶應義塾大学経済学部卒業。INSEADにてMBA。グランゼコールHECにて国際金融修士(with Honors)。筑波大学大学院企業科学博士課程修了(経営学専攻)。東京銀行を経て、パーケレイズ・グローバル・インベストメントに入社。都庁でManaging Director、取締役を経て、2010年にグローバルリーダーを育成するInstitution for a Global Society株式会社を設立。



理事
深沢 恒久
Takahisa Fukuzawa

慶應義塾大学法学部法律学科で学士号を取った後、司法試験に合格。弁護士として企業法務から一般民事事件まで様々な法律問題に取り組み、東京大学大学院法学政治学専攻にて修士号取得。



理事
小川 暁
Hirotaka Ogawa

近畿日本フーズ(株) 代表取締役社長



世界に羽ばたく人材の育成を!

東京理科大学院大学
教育部長・教育学博士

丸川 清史 *Kiyoshi Marukawa*

世界標準のコミュニケーション力を身につけ、会話や発音よりも、しっかりとした考えをもとに発言していくことが大切である。その意味で、早期に英語スピーチ力をつけるのは望ましい。また、世界では、新しい価値を創造するためのディベートをしていく必要があるが、日本人の場合、賛成と個人を区別しにくい場合の多いことが問題になってしまう。その解決に向け、青少年の頃から英語ディベートを学ぶことは有効であろう。自分の意見だけでなく、賛成と反対の両方考え、立場を変える訓練をするのがディベートだからだ。NFLJには大きな期待をしている。ぜひ日本中に広げ、世界で活躍できる日本人を育んでほしい。

【FOP】 <http://kiyoshikurokawa.com>



グローバル時代の課外活動に

品川女子学院 校長
教育厚生実行委員長

志 賀 穂子 *Tomoko Shimizu*

私が校長を務める品川女子学院では、女性の人生のターニングポイント、20歳の卒業から始まる「20歳プロジェクト」を教育の軸にしています。卒業が20歳になると、社会はどのように変化しているでしょうか。1年の発達で世界はどんどん小さくなり、価値観は国境を越えて通じています。そんな未来にどんな姿を実現するにも、他者と協働するコミュニケーション能力、共感力は欠かせません。そして、その発達手段としての英語力は「未来を支える基礎スキル」と言えるでしょう。NFLJの大会へのチャレンジは、強をこえて世界のスピーカー・ディベーターと対戦することができるまさにグローバル時代にふさわしい、課外活動と言えます。今後の発展を大いに期待しています。



世界を広げるきっかけに!

ライフネット生命保険株式会社
代表取締役社長

丸川 大輔 *Takashi Chirawa*

デバス会議などの国際会議で感じることは「日本で通用する英語を話していれば世界に通用する」ということです。しかし、それをきちんと英語で表現できる方が日本にはまだまだ少ない。それが日本の弱みであり、日本を発展できる人が増えてほしいと願っています。また同時に、個人のレベルでは、全員が全員、英語を身につけておく必要はないとも考えています。それでもあえて声を大にしたいのは、英語を身につけておくことが就職に有利になるということです。ぜひNFLJの大会にチャレンジし、世界の友人とつながるきっかけを得てみてほしい。きっと世界が広がるはずです。



英語を“体得”するチャンス!!

国際レーサー

井原 慶子 *Keiko Iwano*

私が必死に英語を学んだのは、チームメンバーとのコミュニケーションミスが私の危殆に直結するからでした。練習を繰り返しながらも、強らとの会議の中で“体得”した英語でのコミュニケーション能力は以来、私のレース人生を支え続けてくれています。ディベートでは相手の主張も正確に聞き取らなければ、反論をすることができません。その意味で、レースと同じ、“一語”の慣例の連続といえます。日本の多くの青少年がNFLJの大会を志し、英語でのコミュニケーションを“体得”され、グローバルに活躍するきっかけを得られることを祈念しております。

特別協賛

近畿日本「リー」リスト

協賛

NEC



Shape your world
APU
Association of
Asia-Pacific University



企業の皆様へ

協賛のお祝い



NFLJでは、そのグローバルネットワークのもと、中国や韓国、米国などの青少年とのスピーチ・ディベート対戦を通じて、日本の青少年が早稲からグローバルなコミュニケーションを学ぶことのできる機会を提供し、よりよいグローバルリソースを

を作り上げていっていただくことも目指しています。こうした青少年たちは必ずや様々な経緯で、国籍、人種、文化を超えたチームをひっぱりついでいくリーダーとなっていただけるものと確信しております。私たちの理念・活動内容に共感し、ともにこの活動を支えていっていただける企業様を募集しております。

※詳細、料金など詳細についてはWEBサイトをご覧ください。
<http://nflj.org/press/2014/04/01/>

大学関係者の皆様へ

ポイント制導入のお祝い



NFLJ発祥の地では、多くの大学において、高校生のその後の活躍を応援する目標として、ペーパーテストの成績のみならず課外活動での実績が重視されています。そして、スポーツなど数多ある課外活動のなかでも、スピーチやディベートに

取り組んだ経験の優位性が認識されるにいたっています。ぜひ日本の大学でも、その教育効果の高さにご留意いただき、NFLJポイントも入学時の評価材料としていただくようお願い申し上げます。

※この点制導入についてはWEBサイトをご覧ください。
<http://nflj.org/press/2014/04/01/>

中学校・高等学校の校長先生・先生方へ

コーチ活動へのお祝い

NFLJでは、スピーチ・ディベート活動が日本全国に広まるよう、各校の先生方との連携を重視しています。スピーチ・ディベートの授業の実施、課外活動へのサポートなど学校のコーチとしてのご協力を御願いします。NFLJの運営スタッフを中心に、ディベートの実践会を定期的に開催しておりますので、ご関心をお持ちの方はぜひご見学ください。各種大会では、参加生徒とともにコーチの表彰も予定しています。

<http://nflj.org/events/01/>



高校生・大学生の皆様へ

有志スタッフの募集



NFLJでは私たちの理念に共感し、具体的な活動者としていただける高校生・大学生スタッフを募集しています。スピーチやディベートのスキルを磨く機会として、あるいは、海外大学への入学につながる社会貢献活動の一環として、NFLJの活動に参加いただける方は、highschool@nflj.orgまでお問い合わせください。

【主な活動内容】

- 10名~20名の小規模のディベート大会の定期的な運営
- ブログやFacebook、Twitterなどのソーシャルメディア運営
- 大会演劇のサポート など

詳細・お問い合わせはこちら

一般社団法人 National Forensic League Japan 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-23-18 渋谷フールドイーストビル4階

TEL) 03-6427-5881 (FAX) 03-3406-2256 (MAIL) info@nflj.org (WEBサイト) <http://nflj.org>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-23-18
 渋谷フールドイーストビル4階
 TEL) 03-6427-5881

SNSやブログもぜひご覧ください [Facebook](#) NationalForensicLeagueJapan [高専生スタッフによるブログ](#) <http://nflj.org/%20blog/>



一般社団法人 National Forensic League Japan

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-23-18 渋谷フォールディングコートビル4階
Mail: info@nflj.org TEL: 03-6427-1681 FAX: 03-3406-2256

<http://nflj.org>

NFLJ アカウント

